

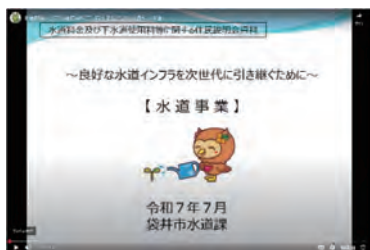
常任委員会 レポート



9月定例会は“決算議会”とも言われ、前年度の一般・特別・企業会計の各決算を中心に様々な議案が市長から提出されます。市議会では、提出された各決算と補正予算に関する議案は予算決算委員会、それ以外の議案は総務委員会・民生文教委員会・建設経済委員会でも審査しています。

今回の常任委員会レポートでは、予算決算委員会の各分科会における決算議案、建設経済委員会における水道事業給水条例の一部改正議案の審査について掲載しています。

建設経済委員会



Youtubeで公開されている
住民説明会資料



問 水道料金は水道水を供給するというサービスに対し費用を頂くことが原則となっている。また、水道料金等懇話会においても、低所得者に対しては市の福祉政策で対応して欲しいとの意見が出されたところである。なお、生活保護を受給されている方々については、物価高騰の影響により、臨時的な措置として、本年10月より生活扶助特例加算として10000円から15000円に増額される。

答 水道料金は水道水を供給するというサービスに対し費用を頂くことが原則となっている。また、水道料金等懇話会においても、低所得者に対しては市の福祉政策で対応して欲しいとの意見が出されたところである。なお、生活保護を受給されている方々については、物価高騰の影響により、臨時的な措置として、本年10月より生活扶助特例加算として10000円から15000円に増額される。

袋井市水道事業給水条例の一部改正

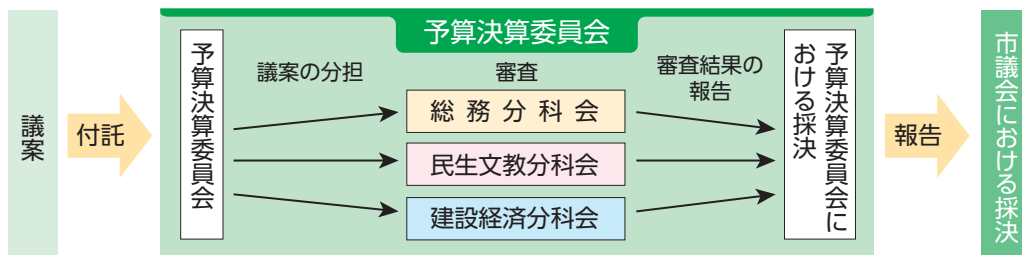
問

水道料金改定に際し、令和8年4月1日施行で猶予期間はあるものの、物価高騰により負担増となる低所得者や生活保護を受給されている方々に対しては激変緩和措置を検討すべきではないか。

予算決算委員会

Pickup
2

予算・決算議案
審査の流れ



やさしい日本語が使われた
パンフレット

問 パブリックコメント制度に関して、意見の件数が少ない場合の有効性について、どのように考えているか。

答

案件によって異なるが、提出した件数は極めて少ないのが現状である。しかしながら、市政のさまざまな政策形成の過程においては、市民の参画機会をしっかりと確保して進めていくことが、行政運営の透明性並びに公平性を確保するという点で重要であり、パブリックコメントは有効な制度であると認識している。今後も引き続き、さまざまな機会を通じて市民の意見を求めている。

問 多文化共生の推進に向けた「多言語対応」と「やさしい日本語」について、今後どのように力を入れていくのか。

答

今後外国人人口は増加していき、言語の幅が広がるとしても、多言語対応には限界があるため、「やさしい日本語」はこれからとても大切なツールになってくる。一方で、災害など、すぐに対応しなければならない状況も考えられることから、市としては、やさしい日本語と多言語対応の両輪を進めていく必要があると考えている。

総務分科会

令和6年度袋井市一般会計
歳入歳出決算認定
（広報費）

令和6年度袋井市一般会計
歳入歳出決算認定
（協働共生推進費）